

再評価項目調書

再評価実施要件		○ 事業採択後 ( 年 ) ○ 再評価後 ( 年 ) ● その他 ( 変化 )						
1 事業概要	事業名	主要地方道 <sup>ひかりかみのせき</sup> 光上関線 道路改築事業						
	事業場所	熊毛郡上関町 <sup>むろつ</sup> 室津 地内						
	事業主体	山口県						
	事業期間	《 前回評価 平成 26 年時 》 平成 27 年度 ~ 令和 8 年度 《 令和 5 年度 》 ( 西暦 2015 年度 ~ 西暦 2026 年度 《 西暦 2023 年度 》 )						
	総事業費 (内用地補償費)	《 900 百万円 》 1,060 百万円 ( 369 百万円 )	既投資額 (内用地補償費)	900 百万円 ( 318 百万円 )	進捗率 (用地補償費)	85 % ( 86 % )		
	事業目的	<p>主要地方道光上関線は光市立野<sup>たての</sup>を起点として平生港や室津港等を経由し、上関町長島に至る幹線道路であり、本土と長島を繋ぐ唯一の道路である。</p> <p>しかしながら、当該事業区間は、幅員が狭く見通しも悪いことから、大型車のすれ違いが困難な箇所があるなど、安全で円滑な交通に支障をきたしている。また、上関小学校・中学校の通学路に指定されているにも関わらず、歩道が整備されていないため、児童・生徒をはじめとした歩行者が危険にさらされている。</p> <p>このため、当該区間の整備を行うことにより、安全で円滑な交通を確保するとともに、市町をまたぐ地域間の連絡強化や、上関地域の観光産業の振興、災害医療拠点への迅速な輸送に資する道路ネットワークの構築を目的としている。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延長 L = 0.6 km</li> <li>○ 車道幅員 全幅 9.75 m (車道 3.0 × 2 = 6.0 m、歩道 2.5 m (片側))</li> <li>○ 道路区分 第3種第3級</li> <li>○ 計画交通量 2,100 台/日</li> </ul>							
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歩道の整備により、歩行者の通行の安全が確保される。</li> <li>○ 主要観光施設等へのアクセス性が向上し、観光産業の振興等が図られる。</li> <li>○ 災害医療拠点 (周東総合病院) への迅速かつ円滑な通行の確保が期待される。</li> </ul>							
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化	社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>人口2,163人(1,171世帯)の上関町は、半島先端の室津地区と上関海峡を挟んだ長島が、上関大橋で結ばれている。</p> <p>事業箇所周辺には、上関海峡温泉や道の駅「上関海峡」などの観光施設や、交流の場となる総合文化センター等が立地しており、歩行者の安全性の確保はもとより、観光産業力強化等の観点からも、当該区間整備の必要性は依然として高い。</p>				中項目評価	大項目評価
		関係市町及び地元の意向	<p>当該道路は、第5次上関町総合計画において、整備を進める主要幹線道路として位置付けられているほか、同町から早期整備の要望がある。</p> <p>また、地元住民は事業に協力的であり、早期整備を望んでいる。</p>				中項目評価	大項目評価

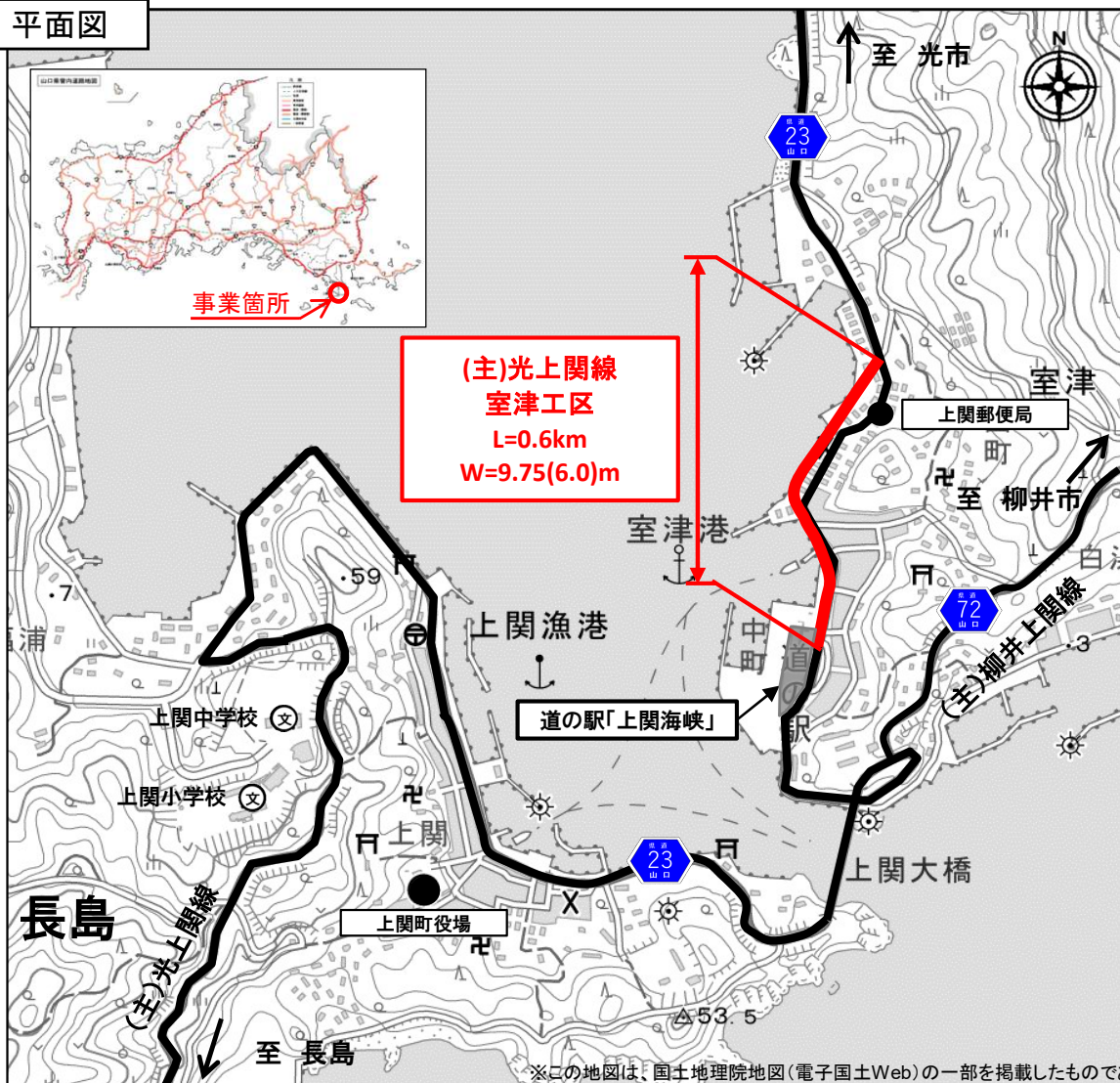
2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果分析等	(単位：百万円)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回 (基準年：H26)</th> <th colspan="2">今回(再評価・再々評価) (基準年：R5)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td style="text-align: center;">949</td> <td style="text-align: center;">1,281</td> <td style="text-align: center;">1,281</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行経費減少便益</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>総便益</td> <td style="text-align: center;">989</td> <td style="text-align: center;">1,329</td> <td style="text-align: center;">1,329</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td style="text-align: center;">684</td> <td style="text-align: center;">1,200</td> <td style="text-align: center;">130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>総費用</td> <td style="text-align: center;">697</td> <td style="text-align: center;">1,210</td> <td style="text-align: center;">140</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>費用便益比(B/C)</td> <td style="text-align: center;">1.4</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">9.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>前回評価：「費用便益分析マニュアル」(H20.11) 基準年：H26 平成22年度道路交通センサスペース 平成42年推計交通量 今回評価：「費用便益分析マニュアル」(R4.2) 基準年：R5 平成27年度道路交通センサスペース 令和22年推計交通量</p>	区分	主な項目	前回 (基準年：H26)	今回(再評価・再々評価) (基準年：R5)		備考	全体事業	全体事業	残事業	便益 (B)	①走行時間短縮便益	949	1,281	1,281		②走行経費減少便益	40	48	48		③交通事故減少便益	0	0	0		④その他の便益						総便益	989	1,329	1,329		費用 (C)	①事業費	684	1,200	130		②維持管理費	13	10	10		③その他						総費用	697	1,210	140			費用便益比(B/C)	1.4	1.1	9.5		大項目 評価 A ・ B ・ C
		区分	主な項目	前回 (基準年：H26)			今回(再評価・再々評価) (基準年：R5)		備考																																																												
				全体事業	全体事業	残事業																																																															
		便益 (B)	①走行時間短縮便益	949	1,281	1,281																																																															
②走行経費減少便益	40		48	48																																																																	
③交通事故減少便益	0		0	0																																																																	
④その他の便益																																																																					
	総便益	989	1,329	1,329																																																																	
費用 (C)	①事業費	684	1,200	130																																																																	
	②維持管理費	13	10	10																																																																	
	③その他																																																																				
	総費用	697	1,210	140																																																																	
	費用便益比(B/C)	1.4	1.1	9.5																																																																	
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し	用地買収は概ね完了しており、計画的な事業進捗が見込まれる。		大項目 評価 A ・ B ・ C																																																																	
		<p>【事業費の変化】 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>事業費の増は、当初は既設のボックスカルバートをそのまま流用する予定であったが、老朽化が著しく本道路施工に伴い更新が必要となったこと、及び護岸施工における資材単価の高騰などによる。</p> <p>【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>過年度に実施された浮棧橋の移設の遅れに伴う護岸工事の遅延及び上記ボックスカルバート更新工事により、事業期間を3年間延伸する。</p>																																																																			
(4) 代替案等コスト削減の可能性	コスト削減	盛土工の施工にあたっては、発生土の現場内利用や他の公共事業との土砂流用の調整により、コスト削減を図る。	中項目 評価 a・b	大項目 評価 A ・ B ・ C																																																																	
	代替案	経済性、施工性、安全性及び周辺への影響を総合的に勘案し、最適なルートを選定しているため、計画どおりに進めることが妥当である。	中項目 評価 a・b	大項目 評価 A ・ B ・ C																																																																	
3 環境	配慮事項	汚濁防止膜等を使用し、水生生物・自然環境に配慮した施工を行う。																																																																			
4 対応方針 (事業実施主体案)	総合評価	● 継続                      ○ 見直し継続                      ○ 中止																																																																			
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。																																																																			
	備考																																																																				

【用語説明】

主要地方道 光上関線 道路改築事業

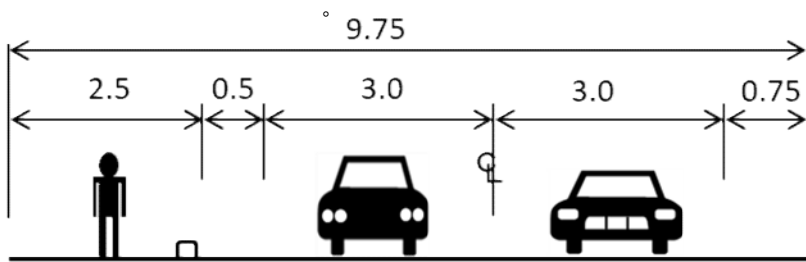
ひかりかみのせきせん

平面図



※この地図は、国土地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである

標準断面図



写真

